

ドローンを使用した 橋梁点検技術の実演講習会

点検支援技術「BR010028」 FLIGHTS CONTROL

●実演会の趣旨

笹子トンネルの崩落事故をきっかけに、2014年から開始された橋梁およびトンネルの5年ごとの近接目視による定期点検は、2019年に定期点検要領の改定が行われ、ドローンを始めとした新技術が橋梁やトンネルの点検に積極的に活用されるようになりました。

今年度は定期点検も3巡目に入り、新技術の活用で点検効率を上げることが、より一層、期待されますが、現時点でドローン橋梁点検は、普及に至っておりません。

今回は、**2023年度の国交省の点検業務で最も実績があるドローン**（点検支援技術「BR010028」）を用いて、実際の橋梁を対象に、**デモフライトから解析まで一連の流れを実演**いたします。

また、デモフライト前に「ドローンによる橋梁点検の現状と課題」をテーマに座学講習を行い、その上で、本技術のポイントとなる、**費用対効果を発揮しやすい橋梁選定、「近接目視と同等」の精度を担保するための精度管理、パイロットの技量によらない自動飛行**等についてもお話いたします。

日時：令和6年5月20日（月）9:00～12:00

※午前中のご都合が悪い場合、お申込みフォームよりその旨をご連絡いただければ、2部制を検討いたします。

会場：座学：仙台国際センター / デモフライト：澁橋（仙台市青葉区川内澁橋通）

会費：無料 ※事前お申込制

対象：国交省・地方自治体の維持管理担当者様/建設コンサルタント企業様

お申込みはWEBフォームより

<https://airtable.com/appNcDr5DZlnzjulq/pagugEdCds8NE0BuU/form>

※上記URL及び右のQRコードよりお申込みフォームにお入りください

FLIGHTS

〒150-0043
東京都渋谷区道玄坂1-19-12
道玄坂今井ビル6階
代表電話：03-5860-1023



時間割

9:00～10:00 座学講習

テーマ：ドローンを利用した橋梁点検の現状と課題

- ↳ドローン橋梁点検の現状
- ↳ドローン橋梁点検の長所・短所
- ↳ドローン橋梁点検の工期・費用など
- ↳ドローン橋梁点検の点検の流れ
- ↳技術的な背景
- ↳画像取得（取得する画像の条件/画素分解能/被写界深度）
- ↳ドローンに必要な条件
- ↳精度管理
- ↳画像合成（オルソモザイク化）
- ↳損傷図作成 など



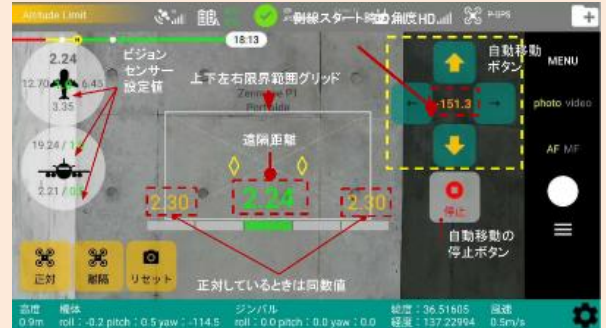
大日本ダイヤコンサルタント株式会社
中部支社技術部技師長
兼 株式会社FLIGHTS 技術顧問
堀田 毅

10:00～10:20 移動 ※座学会場とデモフライト会場は徒歩15分の距離にございます

10:20～11:00 デモフライト～成果品作成の実演

下記の流れで実演いたします

- 飛行撮影（自動）
- ▼
- 精度管理（アプリ）
- ▼
- 画像処理（Metashape）
- ▼
- AI検出照査
- ▼
- 成果品作成



「FLIGHTS CONTROL」飛行画面イメージ

11:00～11:20 ユーザーの声（株式会社テクノ東北）

株式会社テクノ東北は、東北地方における橋梁点検業務で1巡目（H16年）から現在に至るまで、長年にわたり数多くの実績がございます。一昨年より新技術への取り組みを本格的にスタートし、取り組みの一環であるドローンを使用した橋梁点検について、FLIGHTS CONTROLの活用を開始いたしました。今回は、弊社の簡単なお紹介から、本技術の導入経緯（従来点検の課題や本技術での解決）などをご説明いたします。

11:20～12:00 質疑応答、個別相談

会場詳細

座学：仙台国際センター 展示棟 会議室3-A 仙台市青葉区青葉山無番地



デモフライト：澱橋 宮城県仙台市青葉区川内澱橋通 1 2 - 4 0 付近



※お車をお止めいただけるスペースがございますので、お車でおこしいだけます
※当日、道に迷われた際や何かご連絡事項があられる際は、下記までご連絡くださいませ
└株式会社FLIGHTS 有持 (080-4617-3903)